

戦時下の暮らし

名前 _____

_____ 月 _____ 日

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

戦争のなかで、人々の暮らしはどのように変わっていったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 戦時下の暮らし

動員される人々

1 食料や衣類などを、決められた量だけ分ける制度。

2 学生や女性が工場などで働かされたこと。

3 大学生などが軍隊に召集されて戦場へ送られたこと。

戦争が長引くと、食料や日用品が不足し、米や砂糖、衣類などは切符や通帳による

1

_____ になった。金属が不足したため、家庭の鍋や寺の鐘も供出させられた。男性が戦場

へ送られると、労働力が足りなくなり、中学生や女学生、独身の女性が軍需工場などで働かされ

た(_____)。1943年には、文科系の大学生などの徴兵猶予がなくなり、 _____

3

で多くの学生が戦場へ向かった。

朝鮮や台湾などの植民地や占領地の人々にも、戦争への協力が求められた。朝鮮では日本式の姓名を名のらせる創氏改名が進められ、のちに徴兵制もしかれた。意思に反して日本に連れてこられ、工場や鉱山などで働かされた朝鮮人や中国人も多かった。戦争に動員されたこれらの人々の中には、厳しい環境で命を落とした人もいた。

できごと	対象	内容
1 _____	国民全体	食料・衣類などを切符で分ける
2 _____	学生・女性	軍需工場などで働く
3 _____	大学生など	徴兵されて戦場へ向かう

2 空襲と疎開

都市への爆撃

4 飛行機が空から爆弾や焼夷弾を落とす攻撃。

5 1945年3月10日に東京の下町を中心に起こった大規模な空襲。

7

空襲をさけ、都市から地方へ移ること。

1944年の終わりごろから、サイパン島などを基地としたアメリカ軍の爆撃機が飛来するよう

になると、日本の主な都市は次つぎと _____ 4 を受けた。工場だけでなく住宅地もねらわれ、木造

の家が多い都市では、焼夷弾による火災で大きな被害が出た。1945年3月10日の

5

_____ では、東京の下町を中心に約10万人が亡くなったといわれる。

都市の子どもたちは、空襲から守るため、親元をはなれて地方の寺や旅館などに移された。こ

れを _____ 6 という。夜は灯りが外にもれないようにし、防空壕に逃げこむ生活が続いた。

食料不足もあり、国民の暮らしは苦しさを増していった。

できた



/7

